景　気

大阪府景気観測調査結果

平成２６年１０～１２月期

 《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/keikikansoku.html>　》

　商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。平成26年10～12月期の調査結果の概要は次のとおりです。

**［景気は、緩やかな回復基調にあるも、やや足踏みの状態］**

１．業況判断ＤＩは、製造業では改善がみられたが、全産業では消費税率引き上げ以降の内需の伸び悩みなどを反映し、やや足踏みの状態にある。

　業況判断ＤＩの推移（前期比、季節調整済、製造業・非製造業別）

　業況判断ＤＩの推移（前期比、季節調整済、大企業・中小企業別）

景　気

図２　業況判断ＤＩの推移（前期比、季節調整済、大企業・中小企業別）

２．主な項目のＤＩをみると、出荷・売上高、営業利益判断、営業利益水準は大企業を中心に改善し、製・商品単価も大企業の牽引で３期ぶりに上昇したが、慎重な設備投資意欲や資金繰りの悪化など、全体に一服感がみられる。雇用面では、中小企業の雇用予定が５期ぶりのマイナスとなった。なお、来期の業況は、中小企業や非製造業を中心にＤＩは改善する見込みである。

主な項目のＤＩ

３．27年１～３月期の業況ＤＩは、中小企業・非製造業を中心に改善する見通し。

業況判断ＤＩの推移

